

# 防カビ・抗菌の常識を変えた!!

## 『ワイティープルーフ』 技術説明(プライマー編)

### ● はじめに

防水工事、止水工事、断熱工事では**下地処理剤**を一般的に「プライマー」と呼び、塗装工事においては、同じものを一般的に「シーラー」と呼んでおり、同義語と考えて下さい。

### ● プライマーの目的

基本となる使用目的は次の3つとなります。

- (1) 下地、素地は、材質が同じでも部分的には異なっております。特に、コンクリート・モルタル面では吸水の度合が部分、箇所ごとに異なることが一般的です。それらの下地、素地に対し、**「吸い込みムラ」を極力押さえ比較的安定した下地、素地を作る**為にプライマーを塗工します。
- (2) **下地、素地から染み出す物質**、(例えばコンクリート・モルタル等のセメント成形体の場合はセメントのアク(エフロ/白華現象)等のアルカリ物質、木材の場合は木のヤニやリグニン等) **及び、時間経過と共に染み出す可能性のある物質を押さえ込む**為にプライマーを塗工します。
- (3) 仕上げ剤として**塗工する材料との密着性(くいつき)を向上させる**為にプライマーを塗工します。

### ● 「ワイティープルーフ プライマー#10」について

最も標準的なプライマーです。**新設下地に対して使用**される事をお勧め致します。シリコーンエマルジョンタイプの低粘度品で**下地への浸透力を高めると共に、乾燥性を向上させる**よう設計されております。原液使用で乾燥時間は25℃で約1時間、常温にて乾燥が可能なタイプです。刷毛塗りを標準にしておりますが、ローラー等も可能です。

塗布量等は下地によって異なりますが、標準仕様は120~125g/m<sup>2</sup>です。

### ● 「ワイティープルーフ プライマー#20」について

プライマー#10の機能に**「防カビ性」「抗菌性」を付与**させたシリコーンエマルジョンタイプの低粘度品です。コンクリート面、モルタル面、木質面共経年変化で、必ずと言っても良い程、日当たりの悪い箇所は「カビ」や「菌」が発生し、ばり煙やほこり汚れと合体し、「汚れ」が発生します。

この「カビ」や「菌」対策として、**人体への安全性を確保**した上で、約300種類以上もの「カビ」「菌」の検証テストを重ねた結果、誕生した「防カビ・抗菌プライマー」です。

「カビ」「菌」は外部から飛来してくものばかりではなく、下地、素地の中に潜在しているものもあり、**飛来してくものには勿論のこと、この潜在しているものに対し、効果を発揮する**よう設計されております。

使用方法は上記プライマー#10と同様となり、常温乾燥が可能なタイプとなります。

### ● 荷姿について

- ◆18kg 入缶      ◆5kg 入缶      ◆1kg 入缶

※詳細な内容が必要には、製品安全データシート(MSDS)もご参照下さい。